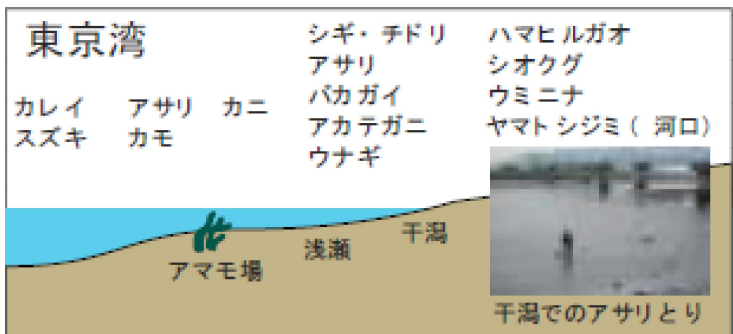


発表原こうを作ろう（話すこと・聞くこと③）

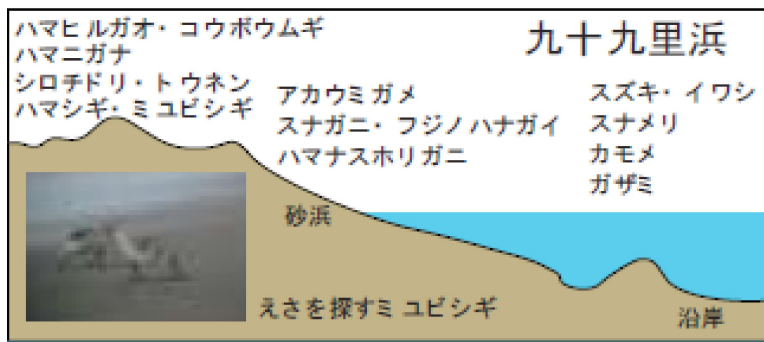
年
 組
 番 氏名

一 山田さんは、千葉県の里海の自然について調べ、【図①】・【図②】・【図③】を使って発表しました。【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えなさい。

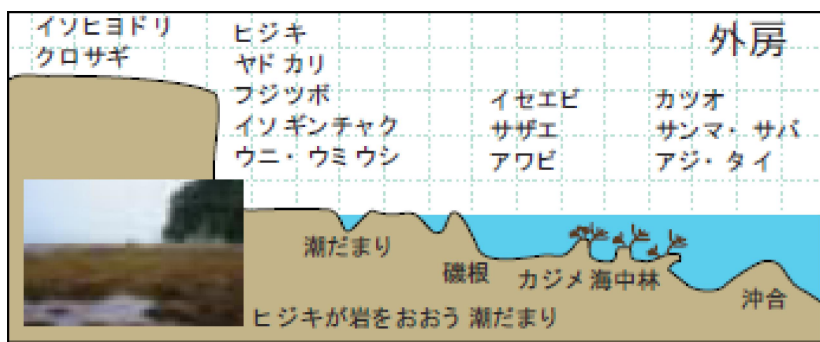
【図①】



【図②】



【図③】



【発表原こう】

発表の仕方	話す内容
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center;">ア</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center;">イ</div>	<p>千葉県は、まわりを川や海で囲まれています。千葉県を囲んでいる川や海の名前を知っていますか。千葉県は、まわりを川や海で囲まれています。千葉県を囲んでいる川や海の名前を知っていますか。</p> <p>北は利根川、南と東は太平洋、西は江戸川と東京湾です。</p>

数名に答えてもらう

ウ

東京湾では、干潟や浅瀬、アマモ場がみられます。干潟というのは、海岸で潮がひいたときに現れる砂や泥の場所のことで、浅瀬は海の浅いところ、アマモ場とは、海の中で、アマモという海藻が繁殖しているところです。その干潟では貝類がとれます。どのような貝がとれると思いますか。図をヒントにして答えてください。

エ

また、沿岸にはスズキなどの漁場もあり、古くから海の生物と人々の生活が深く結びついています。

オ

房総半島南端の館山付近では、熱帯の海にしているような造礁性サンゴも見られます。造礁性サンゴとは、サンゴ礁をつくるイシサンゴ類や石灰藻類のことです。

カ

南房総では、山からの栄養は川へ、そして、海へと流れ込み、岩場のカジメ海中林をはぐくみ、多くの魚の隠れ家となっています。カジメ海中林というのは、海の中で、カジメがたくさん生えているところです。沖合では暖流と寒流がぶつかり、多くの種類の魚がとれます。

キ

九十九里では江戸時代には大量にイワシがとれ、魚油や肥料として出荷されてきました。魚油というのは、イワシやニシン、サバなどの魚をしぼって採った油のことです。

川と海はつながっています。山に降り注いだ雨が川を形成し、川のめぐみが海の磯根を形成し、それらが海の生物を育てています。里海の自然を守るためには、川の自然を守ることから始めると考えてもよいでしょう。多くの生物が生息する千葉県の上総の自然は、わたしたちのくらしとかわっているのです。

(1) 山田さんは、発表をするときに、3まいの図をそれぞれの場面で、資料として示したらよいか考えました。【発表原こう】の中のア～キの中から【図①】～【図③】を示す場所として最も適当な場所を一つずつ選び、その記号を書きましよう。

【図①】を示す↓

【図②】を示す↓

【図③】を示す↓

(2) 山田さんは、聞き手を引きつけるために、どのような工夫をしていますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から二つ選び、その記号を書きましよう。

ア 千葉県を囲む海の生き物の豊かさについて、図を見せながら具体的に述べている。

イ 千葉県を囲む海についてよくわかるように、クイズ形式を取り入れながら説明している。

ウ 専門的な用語については説明を加えて、内容がわかりやすく伝わるようにしている。

エ 最も伝えたいことを何度もくり返し話すことで、強く印象付けようとしている。

(3) 山田さんの発表を聞いた川口さんは、「話し手が調べたことの中で伝えたかった内容をさらに引き出そうとする質問」をしようと考えました。川口さんの考える「質問」として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 発表の中に出てきた「アマモ」という海草は食えることができるのですか。

イ 川の自然を守るためにできることは、例えばどのようなことだと思いますか。

ウ 海とそこに住む生き物のたくさんいる図を集めるうえで、苦労したのはどのようなことですか。

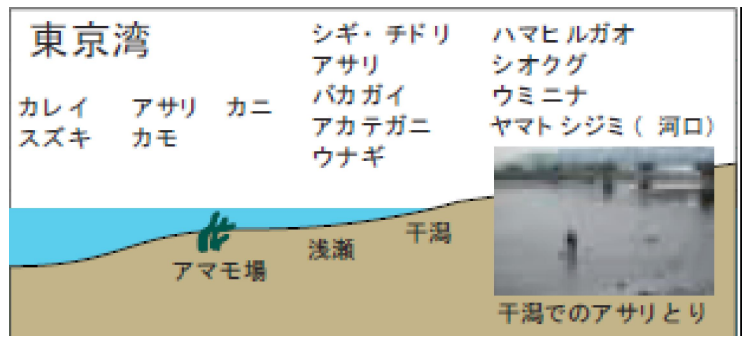
エ 私が調べたところ、利根川では貴重な鳥類が暮らしているそうですが、そのことは調べましたか。

【解答】発表原こうを作ろう（話すこと・聞くこと③）

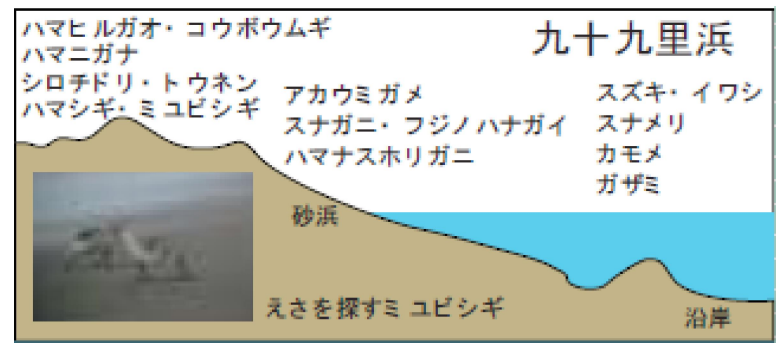
年
 組
 番 氏名

一 山田さんは、千葉県の里海の自然について調べ、【図①】・【図②】・【図③】を使って発表しました。【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えなさい。

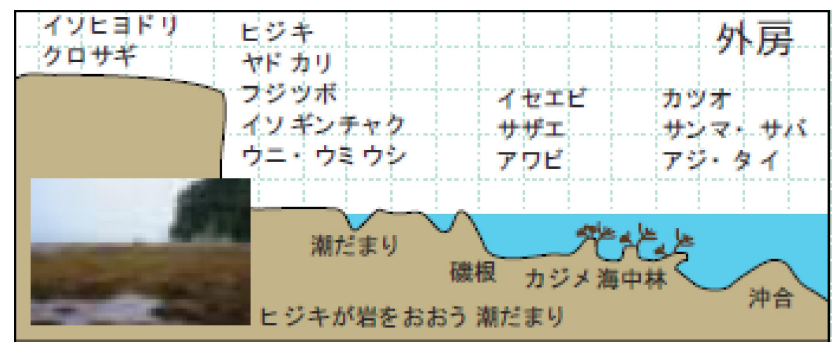
【図①】



【図②】



【図③】



【発表原こう】

発表の仕方	話す内容
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; height: 40px; text-align: center;">イ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; height: 40px; text-align: center;">ア</div> </div>	<p>千葉県は、まわりを川や海で囲まれています。千葉県を囲んでいる川や海の名前を知っていますか。千葉県北は利根川、南と東は太平洋、西は江戸川と東京湾です。</p>

数名に答えてもらう

ウ

東京湾では、干潟や浅瀬、アマモ場がみられます。干潟というのは、海岸で潮がひいたときに現れる砂や泥の場所のことで、浅瀬は海の浅いところ、アマモ場とは、海の中で、アマモという海藻が繁殖しているところです。その干潟では貝類がとれます。どのような貝がとれると思いますか。図をヒントにして答えてください。

エ

また、沿岸にはスズキなどの漁場もあり、古くから海の生物と人々の生活が深く結びついています。

オ

房総半島南端の館山付近では、熱帯の海にいるような造礁性サンゴも見られます。造礁性サンゴとは、サンゴ礁をつくるイシサンゴ類や石灰藻類のことです。

カ

南房総では、山からの栄養は川へ、そして、海へと流れ込み、岩場のカジメ海中林をはぐくみ、多くの魚の隠れ家となっています。カジメ海中林というのは、海の中で、カジメがたくさん生えているところです。沖合では暖流と寒流がぶつかり、多くの種類の魚がとれます。

キ

九十九里では江戸時代には大量にイワシがとれ、魚油や肥料として出荷されてきました。魚油というのは、イワシやニシン、サバなどの魚をしぼって採った油のことです。

川と海はつながっています。山に降り注いだ雨が川を形成し、川のめぐみが海の磯根を形成し、それらが海の生物を育てています。里海の自然を守るためには、川の自然を守ることから始めると考えてもよいでしょう。多くの生物が生息する千葉県の里海の自然は、わたしたちのくらしとかわっているのです。

(1) 山田さんは、発表をするときに、3まいの図をそれぞれの場面で、資料として示したらよいか考えました。【発表原こう】の中のア～キの中から【図①】～【図③】を示す場所として最も適当な場所を一つずつ選び、その記号を書きましよう。

【図①】を示す↓

イ

【図②】を示す↓

カ

【図③】を示す↓

オ

(2) 山田さんは、聞き手を引きつけるために、どのような工夫をしていますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から二つ選び、その記号を書きましよう。

ア 千葉県を囲む海の生き物の豊かさについて、図を見せながら具体的に述べている。

イ 千葉県を囲む海についてよくわかるように、クイズ形式を取り入れながら説明している。

ウ 専門的な用語については説明を加えて、内容がわかりやすく伝わるようにしている。

エ 最も伝えたいことを何度もくり返し話すことで、強く印象付けようとしている。

(3) 山田さんの発表を聞いた川口さんは、「話し手が調べたことの中で伝えたかった内容をさらに引き出そうとする質問」をしようと考えました。川口さんの考える「質問」として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 発表の中に出てきた「アマモ」という海草は食べることができるとですか。

イ 川の自然を守るためにできることは、例えばどのようなことだと思いますか。

ウ 海とそこに住む生き物のたくさんを図を集めるうえで、苦労したのはどのようなことですか。

エ 私が調べたところ、利根川では貴重な鳥類が暮らしているそうですが、そのことは調べましたか。